

夢

西台こども館

〒174-0045 東京都板橋区西台1-27-10 TEL 03-5920-1122 FAX 03-5945-4152
HP <http://shouhaku.jp/> 編集・発行/西台こども館 編集委員

「西台こども館」の

開所によせて

社会福祉法人 松柏児童園

理事長 新井隆司

「子どもたちのための家をつくりたい」との長年の思いが実現し、東京都板橋区西台に児童養護施設「西台こども館」が開所出来ました。ことを皆様方にご報告させていただきます。

情報化社会の日本において、あらゆるものが瞬時にそして詳細に伝えられる中、昨今の子どもを巡る痛ましい事件や事故も例外ではなく、洪水のように流されてきます。そしてそのことよって、ひとのプライバシーや人権などの問題がさらされるといふ状況を作り出しているのです。

かつては孤児院と呼ばれ、親と死別や離別した子どもたちの社会的な生活の場は戦後、養護施設としてスタートし、今日の児童養護施設へとつながっています。様々な家庭背景や虐待等による心理的な問題を抱えた子ども達の状況などは、その時々時代の社会を反映

するものでしょうが、親と暮らせないという事実はいつの時代も変わりません。

全ての大人は子どもの養育に対して責任があり、義務を果たさなければなりません。私共は、いかなる子ども達の未来も、光り輝くものであつて欲しいと願い、当法人と西台こども館がその役割を果たせるよう努力して参る所存でございます。「事業は人なり」と申しますように営利を目的とする私企業であれ、福祉に携わる事業(社会福祉法人等)であれ、組織を維持・発展させていく事の要諦はそう大きく変わるものではないと確信しております。

当法人は児童福祉に関わるものとしては異色ではあるかもしれませんが、二十一世紀の新しい社会的養護を担う法人として、現状を受け止め、新たな取り組みをめざして参ります。

どうぞ皆様のご指導、ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。



ユニットの紹介

子どもたちが暮らすおうちの紹介です。それぞれ個性豊かで、毎日笑顔が絶えません。

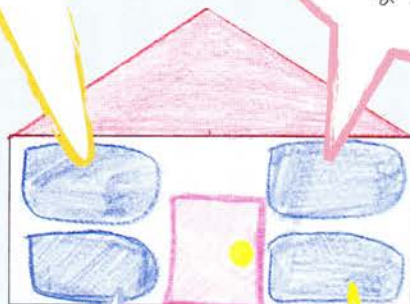
もみじ

もみじには
幼児が3名おり、
朝から晩まで賑やかなユニット
です。全員で買い物に行く時
などは、大騒ぎになります。
幼児はキックボードやピアノ。
小学生は、カードゲームが
流行っています。



かしわ

おもしろいこと、
冗談が大好きなかしわ
の仲間たち。いつも
笑い声でいっぱいです。時々、
けんかをすることもあるけれど、
気がつくときみんな笑顔に
なっています。



いちよう

いちようの子どもたちは
工作・手芸が大好きです。
木で作った刀やクロスステッチ
など、お部屋の中は
作品でたくさん溢れて
います。いろいろと
おもしろいおうちです。



まつ

まつの子どもたちは、けんか
もしますが、いつも仲が良く
夕食後にはユニット全員で遊ん
でいます。最近では喫茶店ごっこ
やかくれんぼで盛り上がって
います。とてみにぎやかで
笑い声が絶えない
おうちです。



ユニット名の由来・・・寒さの厳しい冬でもたくましく生きている松や柏から命名された(社・福)松柏^{しょうはく}児童園。このまつ・かしわに、私たちの生活になじみのあるいちよう・もみじを4つのユニット名にしました。



みんなの1日

こども館の1日のようすを紹介します。みんな朝ご飯をしっかり食べて、元気に過ごしています。



6:30 起床

少し早いですが、みんなこの時間に起きます。

7:00 朝食

1日の元気の素なので、たくさん食べるようにしています。



8:00 登園、登校

幼稚園、学校へ行きます。小学校は集団登校、幼稚園はバス登園です。



12:00 昼食

幼児とのんびり昼食をとります。



15:00 おやつ

そろそろ小学生が帰ってきます。おやつは職員と子どもで買いに行ったりしています。



18:00 夕食

部活等で遅くなる子もいますが、夕食はなるべくみんなそろって食べるようにしています。



20:00～ 就寝

幼児から就寝していきます。寝かしの時間で子どもとの色々な話ができるように心がけています。



【職員構成】

このように配置されております。

- ・館長(園長)
- ・事務員
- ・児童指導員
- ・保育士
- ・家庭支援専門相談員
- ・個別対応職員
- ・心理療法担当職員
- ・栄養士
- ・調理員
- ・パート職員
- ・嘱託医

年*間*行*事



1年間のイベント事です。みんなで協力して、楽しい思い出を毎年作ります。



皆で楽しく水遊び。



七夕さまにお願いを・・・。



5月3日
葛西臨海公園にて。



8月5～7日
おまつ
千葉、興津の海。



社会福祉法人 松柏児童園 設立 と

児童養護施設 西台こども館 設置

に関する経緯

- 平成13年 5月 新井隆司、「子どものための家(施設)をつくりたい」と発言。
- 平成16年 7月 都福祉局子ども家庭部育成課長より
◇児童養護施設を運営する社会福祉法人の新設を認めたい
◇虐待等、子どもの問題が急増し、施設が足りない状況にある
- 平成18年11月22日 東京都より社会福祉法人「松柏児童園」、認可
- 平成19年 2月 建物本体工事着工
- 平成20年 2月 建物本体工事終了(竣工)
- 平成20年 3月 1日 児童養護施設「西台こども館」、事業認可
- 平成20年 3月 6日 西台こども館開所式→以降子ども受け入れ開始



西台こども館の開所について

西台こども館 園長 丸山文男

この度、当西台こども館は東京都において二十七年ぶりに新規の児童養護施設として開所いたしました。数年に亘る準備は法人の設立に始まって、建物の設計、職員の採用と研修、備品等の調達、また地元

(町会)への説明、学校への登校のお願い、そして東京都への「児童受け入れ計画」と様々な準備を行って

参りました。

地元への説明

会の席(地域の

集会場を借りて実施)で「この地域に勝手に来られては困るんです」から「子どものために良い事をなさるんだから



皆で応援しましょう」等々まさに賛否両論が意見として出される中、私どもは「どうぞご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。」と当館の方針と立場をご説明させていただきました。

こうした事を通して職員の一入ひとりには「自分たちの手で新しいものを作り上げていくんだ」という喜びと期待は何ともワクワクする気分でした。しかし同時に、果たして間に合うのだろうか、足りないものはないかと次から次に緊張や不安が生じ、開所が近づくとつれ、それは一層大きくなっていきました。

このようにしてようやく開所の日を迎える事ができ、改めて「ことが成る」にはまさに多くの時間と大勢の人々の思いや

関わりがあつて実を結ぶものであることを実感させられました。

東京都をはじめとする関係機関の皆様方、そして地元の方々をお迎えし、無事に開所式を行う事が出来ました。

しかし、私たちにとりましてはこれからがスタートであり、緒についたばかりです。

当館にとって最初の受け入れ児童となった小学生男児のA君との出会いはまさに西台こども館の本当の始まりを告げてくれるものであり、特別な意味と感慨をもって迎えることとなりました。



虐待や養育放棄など、子どもを巡る諸問題が山積している中、私どもは学校や地域など当館を取り巻く様々な

つながりを大切にしながら、一人ひとりの子どもたちの安全な生活環境を整えていきます。そして子どもたちから「大丈夫だよ」という安心の声が聞こえるような場所となるよう職員が一致協力して子どもたちの【今と将来】をきちんと支えていく所存でございます。

どうぞ皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願ひいたします。



平成19年度

決算報告

法人本部

(収入)	(H19.4.1~H20.3.31)
寄付金収入	315,000
利息収入	587,464
合計	902,464

(支出)	
人件費支出	32,980,132
事務費支出	37,017,271
繰入金支出	10,315,000
合計	80,312,403

経常活動資金収支差額 △79,409,939

(施設整備等収入)

施設整備補助金収入 合計 173,576,000

(施設整備等支出)

建物取得支出	346,072,600
器具及び備品取得支出	11,708,506
権利取得支出	3,517,500
合計	361,298,606

施設整備等資金収支差額 △187,722,606

当期資金収支差額	△267,132,545
前期末資金収支差額	345,660,396
当期末資金収支差額	78,527,851

西台こども館

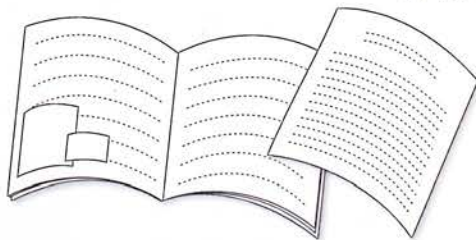
(収入)	(H20.3.1~H20.3.31)
措置費収入	10,525,590
補助金収入	2,376,000
繰入金収入	10,315,000
合計	23,216,590

(支出)	
人件費支出	7,255,250
事務費支出	539,722
事業費支出	794,004
合計	8,588,976

経常活動資金収支差額 14,627,614

経常活動資金収支差額	14,627,614
前期末資金収支差額	0
当期末資金収支差額	14,627,614

(単位:円)



編集後記

夏本番。炎天下の中、子どもたちは元気いっぱい動きまわっています。

本年三月、西台こども館が開所すると共に、「夢 西台こども館」もスタート致します。第一号の発行に向け、四月から取り組んで参りましたが、ようやく皆様にお伝えできる事が出来、ほっとしております。

この夢という言葉には、子どもたちの沢山の夢が叶って欲しいという私たち職員の願いが込められています。「夢 西台こども館」を通して、子どもたちの夢や願いをお届けできる館だよりにしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願致します。

近藤

